

イスラエル経済月報(2019年10月)

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	5
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 政策金利（Interest Rate）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	10
外国投資規制 イスラエル政府は外国投資に係る委員会設立を決定	
自動車 イスラエルスタートアップは自動運転車実現の遅れと格闘	
太陽光 イスラエルの太陽光が遅れている	
日本-イスラエル 経済関係.....	13
EV イ豊田通商が OurCrowd とのパートナーシップを締結	
IIoT デンソーが KITOV.ai 社の製品を生産ラインに導入	
イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	14
AI AI WEEK（2019年11月17～21日，テルアビブ）	
水 WATEC Israel（2019年11月18～21日，テルアビブ）	
デジタルヘルス Digital.Health.Now. 2019（2019年11月27日，テルアビブ）	
サイバーセキュリティ CyberTech（2020年2月3～5日，テルアビブ）	
スタートアップ 2020 OurCrowd Global Investor Summit（2020年2月11日～13日，エルサレム）	
スマートEV EcoMotion Week 2019（2020年5月18～21日，テルアビブ） 等	
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	19
メディア The Future of Viewing Experience イスラエルニューメディアセミナー（2019年11月12日・14日，東京）	
サイバーセキュリティ サイバーテック東京 2019（2019年11月26～27日，東京）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 2日 イスラエルからエジプトへの天然ガス輸出について、両国企業が新たな契約を締結。これにより、輸出量が従来の契約よりも34%増え、15年間で850億m³を供給する。また、パイプラインの持分買収についても、独占禁止庁からの承認が得られた。
- 2日 国家インフラ委員会は、北部のガラリヤ湖地方のラマツト・シリンに20台の風力発電設備を設置する計画を、バードストライクや空軍への影響を理由として却下。
- 2日 テルアビブ証券取引所上場 Ophectra Real Estate and Investments 社は、幹細胞を用いた3Dプリンティング培養肉開発 MeaTech 社の買収に向けたMOUを締結。
- 3日 経済産業省とボンバルディアが相互調達契約を締結。イスラエル鉄道が同社の車両等を購入する見返りに、同社はイスラエルで5年間で5億NISを支出することとなる。
- 3日 Taboola 社と Outbrain 社が合併を発表。ともにイスラエル発祥の米国のコンテンツレコメンド企業で、両者ともにユニコーン企業と目されている。合併後の企業は Taboola 社の名称を用い、Outbrain 社の株主は合併企業の株式の30%を受け取る。
- 3日 来年4月から、FTSE 世界国債インデックスにイスラエル政府のシェケル建債が加わる。時価総額682億NISの13の債券がインデックスの0.29%を構成する見込み。
- 3日 中央統計局のデータによると、昨年末時点で、6.5%の住居が空き家で、空き家の数は2012年比で24%増加している。
- 4日 イスラエルへの年初から9月までの旅行客は330万人で、前年比13%増。中国からの旅行客は11万8千人で、昨年比60%増。410万人という年間記録更新の勢い。
- 4日 イスラエルのデジタル広告技術企業 ironSource 社に英国 PE 企業 CVC Funds が投資。情報筋によると、株式の25%に4.5億ドルを投資し、企業評価額は18億ドル。
- 6日 イスラエルのモバイル通信 Partner Communications 社の支配権再獲得に向けた通信省との協議のため、香港に拠点を有する Hutchison 社の代表がイスラエルに来訪。
- 6日 Comparitech 社のレポートによると、イスラエルはオンラインデータの検閲で世界第11位。過去約10年で、グーグル等に5,500件以上のデータ削除を要請した。
- 7日 イスラエルの7月の平均給与は11,004NIS。前年比3.4%増だが、前月比では微減。
- 7日 仏自動車部品メーカーフォルシア社が、テルアビブにイノベーションセンターを開設。サイバーセキュリティの専門性を高める。
- 7日 ミュンヘン再保険がイスラエルのデジタル保険企業 Next Insurance 社に2.5億ドルを評価額10億ドル以上で投資。米国中小企業向けオンライン保険販売技術を開発。
- 7日 イスラエル防衛電機企業 Elbit Systems 社は、東南アジアの国から1.53億ドル総額の無人航空機システムの契約を受注したと発表。
- 8日 eスクーター Lime, Bird 及び Wind が数週間以内にエルサレムでのサービスを開始。
- 9日 米国クラウドサービス Akamai Technologies 社が、オンライン詐欺等防止技術を開発するイスラエル企業 ChameleonX 社を買収する。2,000万ドル規模と見られる。
- 10日 廃棄物処理に関する省庁合同委員会が、イスラエル初の廃棄物発電所の設計・資金調達・建設・運営に関するPPP方式の入札の資格審査書類を发出。ヨルダン川西岸の入植地マアレ・アドウンミームに建設され、10億NIS規模の案件と見込まれる。

- 10日 テルアビブ市は、シャバット中のバス運行をコンセッション方式で担う事業者に関する入札を数週間以内に開始予定。テルアビブ市民は当面は無料で利用できる。
- 10日 イスラエルの事業用不動産スタートアップ Jones 社が、WeWork を含む投資家から460万ドル資金調達。不動産業者の保険手続を簡素化するサービスを提供している。
- 11日 情報筋によると、医療機器大手メドトロニックが、テルアビブの人口透析用カテーテル開発 AV Medical Technologies 社を3,000万ドルで買収することで合意。
- 15日 IMF がイスラエルの今年と来年の成長率予測を、3.3%から3.1%に下方修正。世界経済の減速が理由。下方修正は今年に入り二回目。上旬には中央銀行も、来年の成長率予測を3.5%から3%に下方修正している。
- 15日 イスラエル南部ネゲブ地域の太陽光発電所に建設許可。国内最大の120MWの発電能力を持つ。8月には近くに121MWの太陽熱発電所が稼働開始している。
- 15日 米国 NPO Pew Research Center が毎年行っている意識調査によれば、中国に好意的な人の割合が欧米で減少するなか、イスラエルでは逆に増加しており、66%が好意的。
- 16日 世界経済フォーラム（WEF）の「世界競争力報告」で、イスラエルは前年と同じ20位。規制の重さやサステナビリティへの取組等が低評価。国内では失望の声。
- 17日 米国投資銀行 Stifel Financial 社とイスラエル VC OurCrowd が戦略的提携を発表。前者の顧客が後者のポートフォリオ企業にアクセスすることが可能となる。
- 17日 業界関係者によると、米国 EV テスラがイスラエル市場について調査しており、来年にも事業を開始する可能性。同社はこれを否定している。
- 18日 米国不動産 CBRE Group 社の推計によると、6月から9月にかけて、テルアビブの賃貸オフィスが6%値上がり。ハイテク企業ブームによるものと思われる。
- 20日 タイの海産食品大手 Thai Union Group が、イスラエルの代替タンパク質スタートアップ Flying SpArk 社に投資。同社はショウジョウバエの幼虫からタンパク質を生産。
- 22日 クレディ・スイスの調査によると、資産額が100万ドル以上の人イスラエルには131,000人おり、人口比で見ると23か国中5位となる。
- 22日 複数の関係者が匿名で明かしたところによると、中国 e コマース大手アリババが、中国からイスラエルへのダイレクト配送ルートを11月の独身の日までに立ち上げる。昨年の独身の日にはアリババを利用した人の中で、イスラエルは4位に入っている。
- 23日 エルサレムに拠点を置くクラウドファンディング型 VC Our Crowd が、豊田通商と、事業面及び技術スカウトのパートナーシップを締結したことを発表。
- 23日 テルアビブの自動車関連スタートアップ REE 社は、日野自動車東京モーターショーに展示するコンセプトモデルに協力したことを発表。REE 社の製品は、全ての駆動部分をホイールアーチ内に収めることができる。
- 24日 アマゾンのサービス開始から1か月、イスラエルの小売業者からはトラフィックと売上が期待ほどではないと失望の声。完全なヘブライ語サイトがまだない上に、現地の配送センターがない一方で配送時間の要求に応える必要があることから適当な価格帯の商品が少ないことが原因とみられる。

- 24日 イスラエルの VC Teuza が、同国の半導体製造工程のダイシング用裁断機企業 Advanced Dicing Technologies 社の株式 18.9%を中国国営企業に 590 万ドルで売却。
- 24日 テルアビブのスタートアップ Blue White Robotics 社が、自動運転用試験場開発に向け米国半導体工ヌビディアと提携したと発表。自動車メーカー等の利用を見込む。
- 25日 世界銀行の 2020 年版ビジネス環境ランキングで、イスラエルは昨年比 14 アップの 190 か国中 35 位にランクイン。納税環境に関する項目での改善が大きく貢献した。
- 25日 テルアビブ市によるシャバット中のバス運行の動きに対し、デリ内相・シャス党党首がこれを阻止するための立法措置をとるつもりと発言。
- 25日 仏国自動車部品大手フォルシアが、サイバーセキュリティに特化したテクノロジーセンターをテルアビブに開設。シリコンバレー、トロント、深圳に次ぐ技術拠点となる。
- 27日 イスラエルとして 6 つ目の医学部が、ヨルダン川西岸占領地内のアリエル大学に開設された。記念式典にはフリードマン米国大使が出席し、祝辞を述べた。
- 28日 イスラエル大手銀行 Hapoalim 銀行が、日本人デザイナーによる中国系小売企業ミニソー（名創優品）への投資を検討中。昨年 8 月からイスラエルに展開している。
- 28日 テルアビブに拠点を置く車列隊管理スタートアップ Fletonomy 社が、ジャガー・ランドローバー及びその CVC InMotion Ventures と協力契約を締結。
- 28日 関係者が匿名を条件に明かしたところによると、イスラエルの有力 VC Viola が、中国国営の中国投資（CIC）を重要投資家とする新ファンドを組成中。中国市場での大きな売上が期待できるイスラエル企業を投資対象とし、当面 2.5 億ドル規模を目指す。
- 29日 テルアビブに拠点を置く 3D プリントスタートアップ Castor Technologies 社が、シンガポールの Chartered Group の VC ファンド Japan-Israel Hi-Tech Ventures やテルアビブ大の VC ファンド等から 200 万ドルを資金調達。
- 29日 財務省傘下の計画局は、既存の建物の耐震強化を支援するプログラムを 2022 年 10 月でやめると決定。同プログラムは利用が偏っている批判されていた。
- 29日 ヒュンダイ自動車は、イスラエルの輸送・物流企業 Taabura Holdings 社の新たなイノベーションセンターに参加する MOU を締結。サイバーセキュリティ、自動運転、ドローン、輸送、スマートモビリティのハイテク企業への投資機会探索で連携。
- 29日 フォルクスワーゲンは、電気自動車 I.D.Buzz の自動運転版を 2022 年にテルアビブで試験することを明かした。50~100 台規模の実証となる見込み。
- 29日 フェイスブック傘下のワッツアップは、イスラエルの監視ソフト開発 NSO Group 社が同社のメッセージサービスをハッキングしたとして提訴。同社は関与を否定。
- 30日 デンソーは、自動スマート視認検査ソリューションを開発・製造するイスラエル Kitov.ai 社との契約を締結。全世界のデンソーの工場に Kitov 社の技術を導入する。
- 30日 イスラエル政府は外国からの投資を承認する過程に関与する諮問委員会設立を決定。
- 30日 イスラエルの在外公館が、立替経費の償還に関する財務省の決定に抗議し、労働組合の決定により全ての業務を停止。停止期間は定まっていない。
- 30日 イスラエルスタートアップは、第 3 四半期に 142 件のディールで 22.4 億ドルを調達。
- 31日 イスラエル大手病院シェバ医療センターがイノベーションセンターの稼働を開始。同病院スタッフとともにスタートアップがイノベーションを創出することを目指す。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

- 2019年第2四半期の成長率三次推計は、0.6%と大きく下方修正。

中央統計局の発表によると、2019年第2四半期の経済成長率（三次推計）は、年率0.6%と大きく下方修正。第1四半期の4.4%成長から大きな減速となった。

第2四半期の成長率鈍化は、民間消費と固定資産投資の落ち込みを反映したもの。他方で、財・サービスの輸出と公共消費支出は増加している。一方で、財・サービスの輸入も増加している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/doclib/2019/317/08_19_317_t1.pdf)

報道 Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-israel-q2-growth-revised-sharply-downwards-1001304198>)

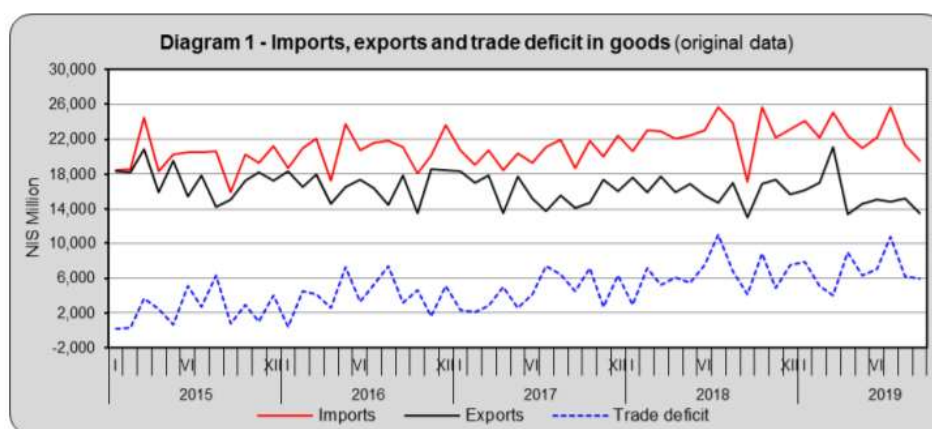
2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

- 2019年9月期の貿易赤字は60億NIS

中央統計局の発表によれば、2019年9月期の物品輸入は195億NIS、物品輸出は135億NISであり、貿易赤字は60億NISであった。

物品輸入（航空、船舶、ダイヤ、燃料除く）は直前3カ月間で年率10.2%減少した。輸入の44%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、22%が消費財、14%が機械装置、陸上輸送機であった。残り20%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出（航空、船舶、ダイヤ除く）は直前3カ月間で年率7.3%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の86%を占め、13%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち37%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率4.1%減少した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/324/16_19_324e.pdf)

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

● 2019年9月の失業率は3.7%

中央統計局は、2019年9月期の失業率は3.7%であり、前月比0.1%減だったと発表。また、第3四半期の失業率も3.7%で、前期比0.2%減。

労働参加率は63.5%で、前月比0.3%増。

2019年9月期の15才以上人口における労働人口は413.9万人、うち被雇用者数は398.8万人（男性207.0万人、女性189.9万人）となった。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2019/327/20_19_327e.pdf)



4. 消費者物価指数 (CPI)

● 9月期のCPIは前月比0.2%減

中央統計局の15日の発表によれば、2019年9月期の消費者物価指数は前月より0.2%減少。エコノミストの予測どおりの結果となった。

過去12か月間では0.3%の上昇。年初からの上昇率は0.6%で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%~3%を下回る。

特に価格下落が著しかった製品は、文化・娯楽(2.8%低)、交通費(1.1%低)、食品(0.6%低)で、逆に価格上昇が著しかった製品は、生野菜・果物(4.3%高)、教育費(1.8%高)、家具・家庭用品(0.6%高)である。

中央統計局は、7-8月期の住宅価格指数も公表。6-7月期に比べて0.1%上昇した。前年比では1.3%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2019/316/10_19_316e.pdf)

報道・Globes (<https://en.globes.co.il/en/article-cpi-fell-02-in-sep-home-prices-resume-rise-1001303768>)

5. 政策金利（INTEREST RATE）

● 中銀、政策金利を 0.25%で維持

10月7日、イスラエル中央銀行は、政策金利を 0.25%のまま維持することを決定。
中銀による声明の要旨は以下のとおり。

物価上昇環境は引き続き低調。過去 12 か月の物価上昇率は 0.6%である。ただし、エネルギーと野菜・果物を除いた物価上昇率は年初以来 0.9~1.1%の幅で安定している。ここ数か月で CPI に与えたネガティブな影響のほとんどは、伝統的にボラテリティの大きい品目であるが、年初来の積み重なるシェケル高も影響を与えている。今後数か月以内に年率の物価上昇率は低下すると見込まれるが、1年以内にはターゲット幅の下限付近にまで回復するだろう。長期の期待上昇率はターゲット幅の中央付近にとどまると期待される。

名目実効為替レートでみると、シェケルは、前回の政策決定会合以来 1.2%、年初来だと 9.1%高くなっている。シェケル高により、物価上昇率をターゲット幅に戻すことが一層難しくなっている。

主として、「貿易紛争」とブレクジットの不確実性により、世界経済のリスクは高まっている。成長予測は下方修正され、世界の主要な中央銀行は金融緩和策を採用した。

イスラエルの経済活動は潜在成長率に近い形で成長を続けており、ネガティブな世界の受け止めやイスラエルの政治状況からは悪影響を受けていないように見える。しかしながら、財政赤字を削減するために政府がとる方策が不確実であることによって、国内経済の発展に関する不確実性が増している。ほとんどの指標によれば、第 3 四半期は潜在成長率に近い形で成長を続けている。貿易は堅調に増加しているが、ビジネス傾向調査 (Business Tendency Survey) によると、輸出の収益性に深刻な制約を報告する企業の割合が増加している。2018 年には、この割合は低下していた。労働市場は引き続きタイトである。

政策金利の見直しは年 10 回で、次回公表日は 11 月 25 日。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/28-8-19.aspx>)

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 10月はシェケル安方向に進むも、引き続きシェケル高の水準

中央銀行は政策金利を維持したものの、すぐにでも再び利下げがなされるとの観測から、為替相場はシェケル安の趨勢で推移。また、中央銀行等が2020年の成長率予測を下方修正したことも影響したと見られる。

中旬には、9月期のCPI0.2%減の発表を受け、シェケル安の展開が進んだ。

その後は一進一退の展開となったが、今年の趨勢である1ドル3.5-3.6NISの価格帯で推移した。

出典：報道・グローブス紙
(<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・10月のドルシェケル相場推移 (<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=02%2F10%2F2019&DateEnd=31%2F10%2F2019>)



7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの外貨準備高は引き続き1,200億ドル付近

中央銀行による発表によれば、2019年9月末時点の外貨準備高は、前月比3.39億ドル減となる1,195億ドルであった。現在、外貨準備高はGDPの31.8%を占める。

減少の要因は、政府移転(2.1億ドル)、評価替(1.51億ドル)、であった。他方、民間移転(0.22億ドル)による準備高の増加も生じている。

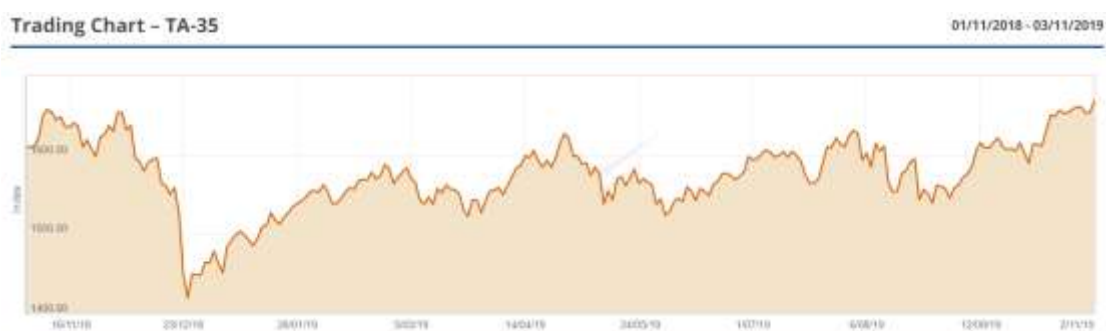
出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-10-19-.aspx>)

7. 主要株価推移 (TA35)

● 月間推移



● 年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<https://www.tase.co.il/en>)

イスラエル経済関係記事

外国投資規制 | イスラエル政府は外国投資に係る委員会設立を決定

29日、イスラエル政府は安全保障閣議を開催し、翌30日に声明を発表。以下は当該声明文。

国家安全保障評議会、財務省、国家経済評議会が率いる長期にわたる事務的作業及び累次の安全保障閣議での議論を経た後、安全保障閣議は、外国投資を承認するプロセスにおいて国家安全保障に関わる諸側面を評価するため、財務省が率いる諮問委員会を設立することを決定した。

財務省、国防省、国家安全保障評議会を代表する各高官の他、外務省、経済産業省、国家経済評議会からオブザーバー、さらに財務省の追加代表者1名が委員会に参加する。

委員会設立のための事務的作業及び手続は、45日以内に完了する。

今回合意されたプロセスを通じ、イスラエルへの外国投資を奨励し、継続的な経済的繁栄を確保する必要性と、国家安全保障上の考慮との間の適切な均衡が見出されることとなる。

委員会は、金融、通信、インフラ、運輸、エネルギーの各分野において、規制当局が外国投資承認プロセスにおいて、国家安全保障上の考慮を織り込むよう支援する。関連する経済的側面に重点を置きつつ、イスラエル国の安全保障上の考慮事項に従って指針を作成する。

これにより、イスラエルは、国家安全保障上の理由から外国投資に対する見落としを最大限なくするためのプロセスを導入している多くの国々とりわけ、米国、カナダ、英国、ドイツ、オーストラリアーに加わることになる。規制当局は、2020年1月1日から同委員会に連絡できる。

同委員会の作業を評価して必要な調整を行うための安全保障閣議を6か月ごとに開催する。

出典：首相府プレスリリース

(https://www.gov.il/en/departments/news/spoke_national_security301019)

※なお、本件に関連するイスラエル国内での報道については、以下他多数。

<https://www.haaretz.com/israel-news/.premium-israel-to-form-committee-to-monitor-chinese-investments-following-u-s-pressure-1.8058754>

<https://www.jpost.com/Israel-News/Under-US-pressure-Israel-okays-mechanism-to-oversee-Chinese-investments-606326>

<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3772754,00.html>

自動車 イスラエルスタートアップは自動運転車実現の遅れと格闘

8月末、自動運转向けLiDARシステムを開発していたイスラエルスタートアップOryx Vision社が廃業を発表した。同社は6,700万ドルを資本として資金調達していたが、4,000万ドルを投資家に返還する。

創業者のRan Wellington氏は、市況が変化したこと、そして自動運転車の第一波が市場に到達するまでに要する時間が、自分たちが予想していたのよりも長くかかる、と述べた。「これは、5年10年辛抱強く待てるプレイヤーのためのゲームである。したがって、ベンチャーキャピタルから支援を受けることは問題がある状況だ」と、彼は語った。

自動運転車の周辺に形作られたスタートアップ群は、革命がすぐそこまで来ているという仮定に基づいていた。そのため、若い企業がなすべきことは、ただ、サポートシステム、それも主としてコンピュータービジョンのセンサーシステムを開発することだった。

しかし、より最近になって、技術的そして規制上の障害が取り除かれるには予想よりも時間がかかるという雰囲気広がってきた。

「完全な自動運転は2023年までに実現すると思われていたが、今日では、ゴールはもっと遠く、実現には自動車産業の大変革が必要であると認識されている。」と述べるのは、イスラエルに拠点を置くVC OurCrowdのモビリティチームを率いるYakir Machluf氏。

Oryx Vision社はこうした新たな未来予想に関するイスラエルで最初の例となったが、世界的にみた場合最初というわけではない。6月、一時は企業価値2億ドルと評価された米国のスタートアップdrive.ai社が、自動運転車の開発中止を発表した。ただし、間際になって、同社のトップスタッフを取り込むためにアップルが買収を決めたことによって、開発中止は免れた。

いくつかの他の廃業が後を追うように見え、残された唯一の質問は誰が生き残るかである。その点に関し、Machluf氏はこう答える。「(生き残るのは)自動運転技術のより低いレベルに適合できた企業である」

最新の予測によれば、レベル4(特定条件下での完全な自動運転)の自動車が市場に出るのは2026年にすぎない。

Machluf氏は、テルアビブに拠点を置くArbe Robotics社のようなスタートアップを生き残りの例として挙げる。同社はOurCrowdのポートフォリオ企業で、4Dイメージレーダーを開発している。同氏によれば、同社の技術はレベル2(運転手が見守る中で運転の一部をシステムが実行)の機能にも用いることができ、それゆえ、世界の大手自動車メーカーのいくつかが関心を示している。

出典：報道 Haaretz

(<https://www.haaretz.com/israel-news/business/.premium-israeli-startups-wrestle-with-delay-in-arrival-of-autonomous-cars-1.7963083>)

太陽光 イスラエルの太陽光が遅れている

4年前の閣議決定によれば、代替エネルギー、主として太陽光は、2030年までにイスラエルのエネルギー生産能力の17%を占めるべきとされている。2020年の中間目標は10%である。しかし、電力庁によると、現在のエネルギー生産能力に占める代替エネルギーの割合はわずか6%である。同時に、イスラエルのエネルギーには風力由来のものがほとんどない。風力のほとんどは、承認又は建設段階にとどまっている。

イスラエルにおける太陽光の開発が遅れている理由の一部として、コスト高と、土地使用の許可を得ることが難しいことがあげられる。また、識者によると、開発の遅れのもう一つの原因としては、インフラがあげられる。電力市場改革の遅れによって、インフラ開発が何十年もおろそかにされてきた。今や改革が開始されているが、太陽光の大規模な流入を電力網が許容できるようになるまでには、長い年月がかかるだろう。

1か月前、シュタイニッツ水・エネルギー大臣は、ベルシェバ南部の太陽熱発電所の開所式典に参加した。この発電所は、イスラエルのインフラ・建設企業 Shikun & Binui 社が有する Negev Energy 社等によって運営されている、121メガワットの発電能力を有する太陽熱発電所である。Negev Energy 社によると、「発電所の強みはエネルギーの貯蔵である。塩によって熱を貯蔵することで、日没後4時間にわたって電気を供給することが可能である」とのこと。また、式典でシュタイニッツ大臣は、水・エネルギー省が代替エネルギーによる電力生産目標を大きく引き上げることが検討中であると明かした。

先月、国家計画・建設委員会は、国家エネルギーマスタープランを承認した。同プランは、エネルギー産業からの要求に対し、その土地が適していると思われる際には国が売却することができる土地のリストを掲げている。それは11か所、計43平方キロメートルに及び、そのほとんどはネゲブ地方だが、北部の場所も含まれている。しかし、同委員会の報告書は、そのほとんどには様々な障害があると指摘している。例えば、ゴラン高原地域では、付近の住民は土地を農業用に確保しておきたいと望んでいる。ネゲブ地方の Ketziot では、太陽光発電設備は地域に生息する鳥類群に悪影響を与えると自然保護団体が懸念している。

同報告書は、むしろ、太陽光発電設備を可能な限り多くの屋上に設置すべきであるとしている。なぜなら、設置のための建設許可が不要だからだ。報告書は、「屋上への設置は計画面及び環境面の両面で優位性がある。建物の使用を制限しないし、地面への設置も不要だからだ」とする。9年前、水・エネルギー省は、太陽光に占める屋上への設置は11%になるだろうと見積もっていた。しかし、最新の推計では、来年末までに、屋上の設備は全設備のほぼ3分の1に達すると見込まれている。

環境保護省によると、太陽光の未来は屋上のみならず、壁面にもあるという。同省エネルギー・気候変動部門のトップ Gil Proctor 博士はいう。「建物の壁面や道路脇、道路に挟まれた場所を活用すれば、イスラエルの電力需要のほとんどをまかなうことができると推計している。」

こうした評価をしているのは同省のみではない。ベングリオン大学の Evyatar Erell 教授と Itai Kloog 教授は、人口の多い都市部の居住用建物に発電用太陽光システムを導入できる可能性について調査を行った。その結果、国の発電能力の大部分を供給することが可能であるため、この選択肢をより深く追究すべきだと指摘している。

出典：報道 Haaretz

(<https://www.haaretz.com/israel-news/.premium-nothing-new-under-the-sun-as-the-world-turns-to-solar-energy-israel-falls-behind-1.7969572>)

日イスラエル経済関係記事

モビリティ 豊田通商が OURCROWD とパートナーシップを締結

グローバルなベンチャー投資プラットフォームでイスラエルを代表する投資家である OurCrowd は、日本の総合商社でトヨタグループの一員である豊田通商と、新たな事業及び技術スカウトのパートナーシップを発表した。OurCrowd は、イスラエル及びグローバルでの、技術スカウト、イノベーションと投資のソースとして活動することとなる。本パートナーシップにより、OurCrowd のイスラエル及びグローバルでのネットワーク、強靱なディールフローのパイプライン、そして 200 社の期待できるスタートアップによる拡大を続けるポートフォリオと、モビリティ、資源・環境、生活・コミュニティ分野におけるイノベティブな製品・サービスを求める豊田通商の幅広い事業分野とコアバリューが組み合わさることとなる。

スカウトに関する合意の焦点は、自動運転領域における次世代のスタートアップのリーダーを探し出すことである。特に、センサー、画像認識、データ圧縮、セキュリティに焦点を当てる。加えて、スマートシティやがん検査を含む医療技術、デジタルヘルス、環境技術、農業ビッグデータといった他の多様な領域における破壊的テクノロジーも探索する。

出典：プレスリリース

(<https://blog.ourcrowd.com/toyota/>)

IIOT デンソーが KITOV.AI 社の製品を生産ラインに導入

自動車部品世界 2 位のデンソーと自動スマート視認検査ソリューションを開発・製造する Kitov.ai 社は、パートナーシップ契約の締結を発表。

本契約により、デンソーは全世界の生産設備において、Kitov 社が有するスマート品質検査技術を採用することができる。契約の条項により、両社は、デンソーの製造ラインでの使用を想定し、標準化されたスマート視認検査ソリューションを Kitov 社の最先端技術をベースに共同でデザインする。デンソーは、共同デザインした視認検査システム第一号を今秋に導入予定。両社は、実際の生産ニーズに基づき、AI ベースの自動視認検査システムを共同で開発・高度化していく。

Kitov 社は、製造業における視認検査向けに AI ベースのソリューションを開発している。Kitov 社が開発するソリューションにより、品質改善と製造コスト削減が可能となる。そのシステムは、コンピュータービジョン、人工知能、先進ロボティクス、ビッグデータ分析を活用している。

出典：プレスリリース

(<https://www.kitov.ai/denso-and-kitov-ai-signed-a-partnership-agreement-for-adopting-kitovs-smart-visual-inspection-technology-across-densos-manufacturing-lines/>)

イスラエルにおける展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

再生医療 7TH INTERNATIONAL STEM CELL MEETING (2019年11月12～13日, テルアビブ)

イスラエル幹細胞学会が主催する国際学会。

<https://www.stemcell2019.org/>

AI AI WEEK (2019年11月17～21日, テルアビブ)

テルアビブ大学が主催するAIに関する国際カンファレンス・展示会。2000名の参加を見込む。イノベーション庁が協賛。

<https://www.ai-week.com/home>

水 WATEC ISRAEL 2019 (2019年11月18～21日, テルアビブ)

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し、新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

物流 ELECTRONIC PACKAGING, ELECTRO-MECHANICAL SOLUTIONS & 3D DAY 2019 (2019年11月19日, テルアビブ)

エレクトロニック・パッケージをはじめとする包装、物流関係全般に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/electronic-packaging-and-electro-mechanical-solutions/>

NEW **生産技術** **TEST AUTOMATION AND DIGITAL QA SUMMIT**
2019 (2019年11月19日, テルアビブ)

試験自動化及びデジタル QA(品質保証)に関するカンファレンス。

<https://www.testingmind.com/event/test-automation-and-digital-qa-summit-israel-2019/>

NEW **食品** **ISRAFOOD** (2019年11月26~28日, テルアビブ)

食品及び飲料業界関係者のための展示会。ホテル料理に関するカンファレンスやパン作りの競技会等も開催される。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

デジタルヘルス **DIGITAL.HEALTH.NOW.2019** (2019年11月27日,
テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute が主催するデジタルヘルスに関するイベント。1,500人, 350のスタートアップの参加を見込む。カンファレンスの他に, B2B ミーティング等もアレンジされる。

<https://www.healthil.org/digitalhealthnow2019>

IOT **IOT, EMBEDDED SOLUTION & MICROPROCESSORS 2019**
(2019年12月10日, テルアビブ)

IOT、組み込みシステム、マイクロプロセッサに関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/embedded-and-microprocessors-conference/>

災害対応 **IPRED, THE 6TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON**
PREPAREDNESS & RESPONSE TO EMERGENCIES &
DISASTERS (2020年1月12~15日, テルアビブ)

緊急・災害時の準備・対応に関する国際会議。主なテーマは銃乱射事件・人道的価値・クラウドソーシング緊急対応・オールハザードアプローチとトップハザードアプローチ・フェイクニュースの時代の緊急&コミュニケーション管理・救命救急士 (EMT) イニシアチブ。

<https://www.ipred.co.il/>

IOT MOTION CONTROL, AUTOMATION & POWER SOLUTIONS

2020 (2020年1月14日, テルアビブ)

モーション・コントロール、自動化、ロボット等に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

サイバーセキュリティ CYBERTECH (2020年1月28~30日, テルアビブ)

サイバーセキュリティの国際会議, 展示会。米国以外で行われるものとしては世界最大級。産業界, 政府政策決定者, 技術専門家等が世界から訪れる。ネットワーキング機会の提供も行っており, B2B ミーティング機会も提供される。

<http://www.cybertechisrael.com/>

スタートアップ° 2020 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2020年2月11~13日, エルサレム)

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2019年は187か国から18,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

スマートシティ MUNI WORLD 2020 (2020年2月18~20日, テルアビブ)

イスラエルの地方政府の連合団体が開催するスマートシティに関するイベント。世界各国の地方自治体から参加者が集まり, ベストプラクティスや専門知識を共有することを目的に, 企業展示やカンファレンスを実施。150社以上のイスラエル企業, 9,000名以上の参加を見込んでいる。

<http://muniexpo.co.il/muni-world/>

防衛/航空 MILITARY & AVIATION EXHIBITION 2020 (2020年3月3日, テルアビブ)

防衛・航空分野に関するカンファレンス及び展示会。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

保守管理 **MAINTENANCE ELECTRICITY & INDUSTRY** (2020年
3月3～4日, テルアビブ)

ビルメンテナンス、産業用機械の保守管理、電気工事、空調、換気等に関する展示会。
1994年から毎年行われている。

<https://epochchannels.com/Website/en/Maintenance/About>

スマートモビリティ **ECOMOTION WEEK 2020** (2020年5月18～21日,
テルアビブ)

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute と、首相府の取組である「Fuel Choices and Smart Mobility Initiative」, 経済産業省が連携した事業である EcoMotion の年次イベント。4,000人, 130のスタートアップが参加するメインイベント(カンファレンス・展示会)は, 19日開催。

<https://www.ecomotion.org.il/>

アクセシビリティ **ACCESS ISRAEL'S 8TH INTERNATIONAL
CONFERENCE ON THE FUTURE OF ACCESSIBILITY** (2019年5
月22～26日, テルアビブ)

障がい者や高齢者にとってのアクセシビリティ向上を目指すNPOが主催する国際カンファレンス。

<https://aisraelcon.org/en/>

医療機器 **THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH &
DEVELOPMENT SUMMIT** (2020年5月24～24日, テルアビブ)

医療機器(ハードウェア及びソフトウェア)に特化したカンファレンス。今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

エレクトロニクス **NEW TECH 2020 EXHIBITION**(2020年5月26～27日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/motion-control-power-solutions/>

光学 **OPTO TECH 2020** (2020年5月26～27日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

インダストリー-4.0 **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY** (2020年5月27日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT、自動化・ロボティクス、M2M、AI、サイバーシステム、クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

UPDATED **メディア** THE FUTURE OF VIEWING EXPERIENCE **イスラエルニューメディアセミナー**（2019年11月12日・14日，東京）

ニューメディア（放送技術・メディア技術・ビッグデータ・コンピュータビジョン・XR・AI など）の企画・開発・販売担当者及びその分野の投資家向けのセミナーで、イスラエル企業8社が来日。イスラエル企業からのピッチに続き、個別面談が設定される。

12日

<https://peatix.com/event/1350836/view>

14日

https://israel-keizai.org/events/event/viewing_experience_2019/

サイバーセキュリティ **サイバーテック東京 2019**（2019年11月26～27日，東京）

イスラエル発祥で、今や世界中で開催されている B2B ネットワーキングプラットフォームである Cybertech の東京開催イベント。世界の企業トップ、政府高官、オピニオンリーダーを迎えてのカンファレンスのほか、スタートアップのパビリオンも展示される。

<https://tokyo.cybertechconference.com/ja>